

# いせ



第82号

令和8年 2月15日号

発行／伊勢市議会  
編集／議会のあり方調査特別委員会  
広報広聴検討分科会

## 市議会だより

題字 豊浜西小学校5年 柳瀬 暖 さん



### 「改選後初議会を開催」

令和7年10月26日の選挙で新しく24人の議員が選出されました。

令和7年12月定例会は改選後初めての議会でした。4年間よろしくをお願いします。

※裏表紙には、個々の議員の顔写真を掲載しています。

議員 大野 寛文	議員 神谷 明子	議員 中村 栄治	議員 青沼 陽一郎	議員 宮本 晃	議員 谷口 久美	議員 杉村 剛	議員 山木 英樹	議員 森下 知世	議員 小阪 史章	杉原 正基 事務局長	副議長 吉井 詩子
議員 池田 覚	議員 久保 真	議員 上村 和生	議員 岡田 善行	議員 吉岡 勝裕	議員 宿 典泰	議員 品川 幸久	議員 辻 孝記	議員 楠木 宏彦	議員 中村 功	議員 大西 要一	
(監査委員) 議員 宮崎 誠	議長 北村 勝						市長 鈴木 健一	副市長 藤本 亨	副市長 福井 敏人		

### 主な記事

議長・副議長就任あいさつ …… 2ページ  
審議した案件と結果、賛否一覧表 …… 4ページ  
市政を問う（議案質疑、一般質問）… 7～11ページ

会派の紹介、審議した主な議案の内容… 3ページ  
常任委員会等委員紹介 …… 5～6ページ  
議員の紹介 …… 12ページ

## 令和7年 12月定例会

### 議会の新しい体制がスタート

多様な意見を市政に反映できるよう  
開<sup>かつた</sup>達な議論を展開します



北村 勝  
議長



吉井 詩子  
副議長

意全力で職務を全うしてま  
いる所存です。

昨年11月1日、本市は市  
制施行20周年を迎え、市民  
の皆さまを主体とする新た  
な市政の取り組みをさらに

推し進めていく重要な節目  
の年でありました。本年は  
神宮式年遷宮に向けたお木  
曳行事が始まり、地域活性  
化への期待はもろろんのこ  
と、全国から注目をいただ  
く絶好の機会となっていま  
います。

市議会においては、市民  
の代表が集う場であり、議  
会の品位と民主的手続きを  
守ることが何よりも大事で  
あると考えています。公平  
公正かつ、忠実に議会の運  
営に当たってまいります。

特に、議員相互の信頼の  
あり方について検討を重ね

ていくことはもちろんのこ  
と、これまで歴代議長のも  
とに進められてきました議  
会改革の流れを止めること  
なく、さらに前に進めてま  
いります。

二元代表制の一翼を担う  
市議会として、議会の果た  
すべき役割を十分に認識し、  
議会運営に尽力してまいり  
ますので、今後引き続き、  
ご理解とご支援を賜ります  
ようお願いを申し上げます、就  
任のご挨拶とさせていただきます。

#### 議会選出の監査委員



宮崎 誠  
監査委員

#### 12月定例会の概要

令和7年12月市議会定例  
会を、12月8日から22日ま  
での15日間の会期で開催し  
ました。

今定例会では、12月8日  
に議長・副議長の選挙を行  
い、議長に北村勝議員、副  
議長に吉井詩子議員を選任、  
また同日、議会選出の監査  
委員として宮崎誠議員を選  
出、翌9日には、常任委員  
会委員等の選任を行いました。

また、令和7年度補正予  
算をはじめとする44議案が  
提出され、本会議、各常任  
委員会において慎重に審議  
した結果、各議案を原案ど  
おり可決・同意しました。

そのほか、発議4件のう  
ち3件を可決、1件を賛成  
少数で否決しました。

なお、12月22日の本会議  
において、「令和7年度伊  
勢市観光交通対策特別会計  
補正予算（第1号）」およ  
び「日本国国章損壊の罪」  
の早期制定を求める意見書  
の提出」について、反対討  
論がありました。

一般質問と答弁の概要は  
7～11ページをご覧ください。

#### 12月定例会日程

- |     |     |   |
|-----|-----|---|
| 12月 | 8日  | 。本会議<br>（正副議長選挙等）<br>。各派代表者会議<br>。全員協議会   |
|     | 9日  | 。本会議（常任委員会<br>委員選任等）<br>。各派代表者会議<br>。総務政策委員会<br>。教育民生委員会<br>。同協議会<br>。産業建設委員会<br>。同協議会<br>。議会運営委員会<br>。同協議会 |
|     | 10日 | 。本会議<br>（議案の提案説明等）<br>。全員協議会  |
|     | 15日 | 。議会運営委員会<br>。本会議（委員会審査<br>付託・一般質問）  |
|     | 16日 | 。本会議（一般質問等）   |
|     | 17日 | 。産業建設委員会<br>。教育民生委員会  |
|     | 18日 | 。総務政策委員会  |
|     | 22日 | 。議会運営委員会<br>。同協議会<br>。本会議<br>（議案採決等）<br>。産業建設委員会<br>。教育民生委員会<br>。総務政策委員会<br>。全員協議会                          |

市議会の会派の紹介

(令和7年12月5日現在)

会 派 名	議 員 名				会 派 名	議 員 名				
未 来 創 成 (7人)	幹 事 長	大 西 要 一	副幹事長 会 計	池 田 久 美	公 明 党 (2人)	幹 事 長	辻 孝 記	副幹事長	吉 井 詩 子	
	谷 中 村 木 村 北	栄 英 樹 剛 勝		品 川 幸 久		宿 典 泰				
	市 民 の 声 (1人)	幹 事 長		大 野 寛 文						
	みらいをつくる会 (1人)	幹 事 長		森 下 知 世						
勢 風 会 (5人)	幹 事 長	吉 岡 勝 裕	副幹事長 会 計	上 村 崎 本 保 誠 晃 真	参 政 党 (1人)	幹 事 長	神 谷 明 子	日 本 共 産 党 (1人)	幹 事 長	楠 木 宏 彦
	会 計	宮 宮 久 保		青 沼 陽 一 郎						
ネ ク ス ト (3人)	幹 事 長	岡 田 善 行	副幹事長 会 計	小 阪 史 章 功	未 来 伊 勢 研 究 会 (1人)	幹 事 長	青 沼 陽 一 郎			

審議した主な議案の内容

令和7年度補正予算

令和7年度伊勢市一般会計補正予算(第6号)

民生費

・物価高騰対応子育て応援手当支給事業  
3億5065万8千円

国の重点支援地方交付金等を活用し、昨今の物価高の影響を受けている市民生活に、より速やかな支援を行うために要する経費について補正するもの。

国の支援策に基づき、児童手当の受給者に対し、子ども1人当たり、2万円を支給するもの。令和8年2月の支給開始を予定。

債務負担行為

市民生活や事業所運営への支援として、令和8年4月の請求分から、6カ月分の水道の基本料金を無料とするため、水道事業会計への繰出金について債務負担行為を設定するもの。

条例

伊勢市火災予防条例の一部改正

林野火災予防の実効性の向上を図るため、林野火災に関する注意報の創設等を行うとともに、屋外のテント等に設置される簡易サウナ設備について火災予防上必要な基準を定めるため条例を改正しようとするもの。

そのほかの改正として、住宅の火災対策のうち、住宅への設置を推奨する設備の一つとして、地震を感じると自動的にブレーカーを落として電気を止める感震ブレーカーを追加する。

施行期日

林野火災に関する部分

令和8年1月1日

簡易サウナ設備等に関する部分

令和8年3月31日

その他規定の整備に関する部分

公布の日

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

全会一致の案件

〔議案〕		〔議案〕	
議案番号	案件名	議案番号	案件名
105	令和7年度伊勢市一般会計補正予算（第4号）	128	伊勢市障害児放課後等支援施設の指定管理者の指定
106	令和7年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	129	いせ市民活動センターの指定管理者の指定
107	令和7年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	130	伊勢市矢持会館の指定管理者の指定
108	令和7年度伊勢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	131	伊勢市朝熊ふれあい会館の指定管理者の指定
110	伊勢市附属機関条例の一部改正	132	伊勢市中村会館の指定管理者の指定
111	伊勢市立公民館条例の一部改正	133	市道の路線の認定
112	伊勢市学習等供用施設条例の一部改正	134	伊勢市副市長の選任につき同意を求めること
113	伊勢市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	135	伊勢市監査委員の選任につき同意を求めること
114	伊勢市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	136	伊勢市公平委員会委員の選任につき同意を求めること
115	伊勢市障がい者基幹相談支援センター条例の一部改正	137	伊勢市教育委員会委員の任命につき同意を求めること
116	伊勢市二見健康管理増進センター条例の廃止	138	令和7年度伊勢市一般会計補正予算（第5号）
117	伊勢市離宮の湯条例の全部改正	139	令和7年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
118	伊勢市地区コミュニティセンター条例の一部改正	140	令和7年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
119	伊勢市火入れに関する条例の一部改正	141	令和7年度伊勢市介護保険特別会計補正予算（第3号）
120	寶日館条例の全部改正	142	令和7年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第2号）
121	伊勢市火災予防条例の一部改正	143	令和7年度伊勢市病院事業会計補正予算（第2号）
122	伊勢市立高麗広公民館の指定管理者の指定	144	令和7年度伊勢市水道事業会計補正予算（第1号）
123	伊勢市ハートプラザみその指定管理者の指定	145	令和7年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第1号）
124	伊勢市児童館の指定管理者の指定	146	伊勢市職員給与条例等の一部改正
125	伊勢市放課後児童健全育成施設の指定管理者の指定	147	令和7年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）
126	伊勢市こども発達支援施設の指定管理者の指定	148	令和7年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第2号）
127	伊勢市みなとふれあいセンターの指定管理者の指定		

〔発議〕		〔発議〕	
14	議会のあり方調査特別委員会の設置	16	常任委員会の閉会中の継続審査・調査
15	議会運営委員会の閉会中の継続審査・調査		

賛否の分かれた案件

〔議案〕	
議席番号	議員名
1	大野 寛文
2	小阪 史章
3	神谷 明子
4	森下 知世
5	中村 栄治
6	山木 英樹
7	青沼陽一郎
8	杉村 剛
9	宮本 晃
10	谷口 久美
11	池田 覚
12	大西 要一
13	宮崎 誠
14	久保 真
15	中村 功
16	上村 和生
17	北村 勝
18	楠木 宏彦
19	吉井 詩子
20	岡田 善行
21	辻 孝記
22	吉岡 勝裕
23	品川 幸久
24	宿 典泰
議案番号	案件名
議案第109号	令和7年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）
	賛成多数 原案可決
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × ○ ○ ○ ○ ○

〔発議〕	
発議第13号	「日本国国章損壊の罪」の早期制定を求める意見書の提出
	賛成少数 否決
	○ ○ ○ × × × × × × × × × × × ○ × × × × ×

・○は賛成、×は反対。北村議長は通常採決に加わりません。  
・吉井議員は、12月22日の本会議を欠席。

## 常任委員会等委員紹介

◎ 委員長    ○ 副委員長（委員は議席順）

12月定例会において、常任委員会等の委員を選任しました。委員の構成は次のとおりです。常任委員会委員および議会運営委員会委員の任期は、令和7年12月9日から令和8年12月8日までとなります。

### 常任委員会

#### 総務政策委員会

市の総合計画や行財政改革、防災、税に関することなど、行政の基幹的事項を審査します。

##### ※継続審査・調査案件

- ・総合計画推進事業に関する事項
- ・公共施設マネジメントに関する事項
- ・自治体D X（デジタルトランスフォーメーション）に関する事項
- ・防災対策に関する事項
- ・ふるさと未来づくりに関する事項

◎品川 幸久      神谷 明子  
○久保 真      杉村 剛  
大野 寛文      吉井 詩子  
小阪 史章

※北村勝議長は議長職のため、総務政策委員会委員を辞退しています。

#### 教育民生委員会

ごみなどの環境問題、健康、福祉、病院、教育などに関する事項を審査します。

##### 継続審査・調査案件

- ・カーボンニュートラルに関する事項
- ・子ども子育て支援に関する事項
- ・保健福祉拠点に関する事項
- ・伊勢市病院事業に関する事項
- ・学校教育に関する事項

◎吉岡 勝裕      池田 寛  
○辻 孝記      宮崎 誠  
山木 英樹      中村 功  
谷口 久美      楠木 宏彦

#### 産業建設委員会

農林水産、商工、観光、交通、都市計画、上下水道などに関する事項を審査します。

##### 継続審査・調査案件

- ・農林水産に関する事項
- ・観光振興に関する事項
- ・内宮周辺駐車場のあり方に関する事項
- ・中心市街地活性化に関する事項

◎岡田 善行      青沼 陽一郎  
○上村 和生      宮本 晃  
森下 知世      大西 要一  
中村 栄治      宿 典泰

### 議会運営委員会

議会の運営、議会の会議規則や委員会条例等の改廃および議長の諮問に関する事項を審査します。

##### 継続審査・調査案件

- ・議会の運営に関する事項
- ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ・議長の諮問に関する事項

◎大西 要一      谷口 久美  
○辻 孝記      楠木 宏彦  
大野 寛文      岡田 善行  
森下 知世      宿 典泰  
宮本 晃

※継続審査・調査案件…本会議の閉会中も審査または調査を継続する必要があると認められた案件

# 議会のあり方調査特別委員会

(任期:令和7年12月22日～令和11年11月26日)

議会のあり方調査特別委員会は、議会改革を進めていくために設置され、議長を除く23名の議員で構成しています。この特別委員会では3つの分科会を設置し、専門的に協議、検討を行っています。

## 議会のあり方調査特別委員会

※構成：議長を除く全員

◎上村 和生    ○中村 功    ほか21名

## 企画調整部会

※構成：議会のあり方調査特別委員会の委員長、副委員長、各分科会の会長、副会長

※必要に応じて開催

### 政策等検討分科会

#### 検討項目

- ・政策立案・政策提言
- ・予算・決算審査のあり方
- ・議会基本条例の検証・改正
- ・その他議会改革に関すること

◎辻 孝記  
○青沼 陽一郎  
杉村 剛  
大西 要一  
中村 功  
上村 和生  
楠木 宏彦  
宿 典泰

### 議会ICT検討分科会

#### 検討項目

- ・パソコン(タブレット)の更新
- ・議員間のデジタルデバйд対策
- ・SNSの活用
- ・その他議会ICTに関すること

◎宮崎 誠  
○中村 栄治  
神谷 明子  
山木 英樹  
吉井 詩子  
岡田 善行  
吉岡 勝裕

### 広報広聴検討分科会

#### 検討項目

- ・市議会だより
- ・高校生との連携
- ・議会報告会・意見交換会
- ・議会ツアー
- ・議会放送
- ・その他広報広聴に関すること

◎久保 真  
○谷口 久美  
大野 寛文  
小阪 史章  
森下 知世  
宮本 晃  
池田 寛  
品川 幸久

◎委員長・会長    ○副委員長・副会長    (委員は議席順)



30日。政策等検討分科会  
23日。広報広聴検討分科会  
20日。議会ツアー  
15日。政策等検討分科会  
9日。政策等検討分科会  
1月。政策等検討分科会  
。議会ICT検討分科会  
。広報広聴検討分科会  
22日。議会のあり方調査特別委員会  
18日。総務政策委員協議会  
17日。産業建設委員協議会  
15日。各派代表者会議  
10日。各派代表者会議  
8日。12月定例会  
。各派代表者会議  
1日。議員懇談会  
12月。各派代表者会議  
26日。伊勢市議会議員選挙  
10月

議会日誌

# 市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取るとその議員の動画が視聴できます。

## 7人の議員が質問

12月15日 (一般質問)	中村 功 品川 幸久 森下 知世 久保 真 楠木 宏彦	8 ページ 8 ページ 9 ページ 9 ページ 10 ページ	12月16日 (一般質問)	神谷 明子 辻 孝記	10 ページ 11 ページ
			12月22日 (議案質疑)	楠木 宏彦	7 ページ

**議案質疑** …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

**一般質問** …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

### 議案質疑



くすき ひろひこ  
楠木 宏彦

(日本共産党)

「国旗国歌法」制定時、尊重規定を紛糾の種になるからと、設けなかった。国民の分断につながるのではないかと

**答** 罰則によって抑止力が生まれ、その抑止力によって分断が抑えられる

動画はこちら  
(55分頃)から



### 発議第13号

「日本国国歌損壊の罪」の早期制定を求める意見書の提出  
※提案者(神谷明子議員)に対する質疑

**問** その抑止力によって国民の自由な表現が抑えられてしまうことを危惧する。米国で星条旗を燃やして政権に抗議したことを罰するという州法は憲法違反であるという最高裁の判決がある。政治的な表現であるという判断だ。法律によって国旗損壊を罰するというのは、表現の自由を抑圧するものと考えるが。

**答** 国章を損壊するのは、他者に精神的苦痛を与えるもので、その行為は、公共の福祉の考え方に反する。

**問** 近代民族国家というのは、多様な考えを持つ一人ひとりの国民の集まりである。国旗を尊重しないで損壊する者を罪に問うというのは、国民に一つの考えを押し付けるもの。近代民族国家の理念に反するものと思われるがどうか。

**答** 日本国の象徴としての日の丸を損壊しないでいただきたいという国民の思いも、多様性の中に含んでいただきたい。



発議第13号採決の様子

**問** 日の丸は侵略戦争の象徴であった。国家主義であつたイタリア、ドイツは戦後、国旗を変えている。日の丸を拒否するのは、二度と子どもたちを戦場に送るまいという意思の表れ。このような思いを押しつづすものではないか。

**答** 誰かの思いを押しつづすということは起こりうる。しかし、日の丸は侵略戦争のみを象徴するものとは限らないのではないかと。当時、欧州の支配から解放された国が存在したことや、戦後80年間の日本の歩みにも目を向けていただきたい。



なかむら いさお  
**中村 功**

(ネクスト)

## 修学旅行費用の無償化について問う

動画は  
こちらから



**答** 現在、無償化の考えはないが、他市町の事例を研究したい

**問** 修学旅行費用を無償化とすれば予算はどれくらいかかるのか。

**答** 小中学校合わせて、約9千9百万円と見込まれる。

**問** 一部を補助する考えはないのか。

**答** 他市町の状況を調査し、研究したい。

**※** ラーケーションの導入について

**問** 県内でラーケーションに取り組んでいるところはあるのか。

**答** 志摩市が令和7年9月から取り組んでいる。

**有害鳥獣被害対策について**

**問** サルの被害対策の現状は。

**答** スマートフォンを活用した目撃情報報告システムや、GPS発信機を利用した行動域調査など、ICTを活用した対策を進めている。宮山地区においては、サル対策の専門家指導のもと、勉強会や追い払い訓練を実施し、大量捕獲に向けて地域ぐるみで対策を行って



修学旅行の様子

いる。

**問** 耕作放棄地において、蓮台寺柿が収穫されず、鳥獣の餌となっているが、その対策は。

**答** 商品にできなかった柿の活用等の取り組みも進めており、放任果樹発生抑制につなげていきたい。

**クマの出没情報は、**

**答** 市内での出没はないが、近隣では南伊勢町、度会町、大紀町で出没情報がある。

**ホームページ以外でも**

**注意喚起を促してはどうか。**

**答** 近隣市町の出没状況を踏まえ、ホームページ以外の手段も検討したい。



しながわ ゆきひさ  
**品川 幸久**

(政友会)

## 市長は市民の皆さんの声をどう聴いたか

動画は  
こちらから



**答** 少子高齢化・人口減少が進んでいる状況を改めて実感した

**問** 市長は選挙公約で小中学校給食の無償化をあげたが、毎年5億7千万円程かかる。国の動向を見て出したのか。

**答** 小中学校給食の無償化については、無償化を望む声を聞いており、議会においても議論をいただいていた。子育てと学びを地域全体で支えていきたいとの思いで公約とした。現在、国において制度設計がなされているところである。

**問** 来年度から小学校給食の無償化が実施に進むと思われるが、中学校給食については次の段階になる。公約は4年であるが、時間が空くと小学校と中学校のギャップが心配されるがいかがか。

**答** 中学校給食の無償化については、国はできる限り速やかに実現するとしている。国の動きに後れを取らないよう進めていく。

**問** 令和7年度の子どもの出生数は、500人程である。この子どもたちが小

小学校に100人、明野小学校に100人進むとすると、残り300人を仮に20校の小中学校で割ると、1学年1クラス15人となる。地域によってはもっと少ないところが出てくるがどのように考えるか。

**答** 適正規模を維持していくことが困難となってきた。小中学校適正規模化・適正配置基本計画についてはそれらの課題を考慮した上で見直していきたい。

**問** 物価高騰対策については、水道料金の基本料金免除等も考えられるがいかがか。

**答** しっかり検討したい。



学校給食

※ラーケーション…平日に子どもが保護者等と一緒に、校外で体験的、探究的な活動を行うため学校に登校しなくても欠席扱いにしない制度。ラーニング（学び）とパークション（休暇）を組み合わせた造語。

一般質問



もりした ちよ  
森下 知世

(みらいをつくる会)

市長が給食費無償化を選挙の公約に掲げた理由として、どの点に最も重点をおいたのか

答 子育てと学びを地域全体で支えていきたいとの思いから公約に掲げた

動画は  
こちらから



**問** 給食費の無償化を公約に掲げた理由として、国の動向、市民からの請願の声、市としての判断等、どの点に最も重点を置かれたのか。

**答** 長年給食費の無償化を望む声をいただいております、議会においても議論いただけてきた。これらの事から子育てと学びを地域全体で支えたいと思い公約とした。実施時期の見通しについては、国において制度設計がなされているところであり、国の動きに後れを取らないよう、準備を進めていきたい。

**問** 市民参加型の選挙環境づくりについて

**答** 次世代を担う若い世代の市政への参加は欠かせない。制度の複雑さ、必要経費の大きさ、煩雑な手続き等、立候補のハードルを下



明るい選挙のイメージキャラクター  
「選挙のめいすいくん」

げるため、現行の選挙公報のデータ提出方法や、選挙公報作成用ひな形データのソフトウェア指定等を改善していく考えはあるか。

**答** 4年後の選挙までには可否を含めた検討を進めたい。

**問** 投票率の低下を防ぐために親子や社会人等、主権者教育の対象を広げる予定はあるか。

**答** 若者の投票率が低い傾向となっているため、若者世代の投票率向上を目指したい。また、その他の世代についても、有権者の一人ひとりが政治意識を高めるための啓発や制度の周知を進めていきたい。

一般質問



くぼ まこと  
久保 真

(勢風会)

おかげバス環状線のルート変更について考えを聞きたい

答 今後の社会情勢を鑑み、バス事業者と連携しながら研究していきたい

動画は  
こちらから



**問** 団地全体に高低差があり、近くにバス停もない大規模団地へのおかげバス環状線の乗り入れは、要件緩和により可能と考えるかどうか。

**答** 乗合タクシーの支援制度等の活用で交通空白地解消に努めていただきたいと考えている。

**問** 要件緩和によるコース変更の方が時間短縮、交通障害緩和、人口密集地の利用増が見込まれる。伊勢地域公共交通会議に諮問していただけないか。

**答** 委員に共有させていただく。

**問** 環状バス利用者の属性等についてアンケートを行い、目的や行き先などを調査できないか。

**答** 今後行う方向で研究していきたい。

**問** やすらぎ公園プールについて

**答** 過去には老朽化のため閉鎖が検討されたが、今後も運営を続けていくのか考えを聞く。



おかげバス

**答** 市民の健康増進、体力向上、レクリエーションの振興を目的とした市民プールとして運営を続けることとしている。

**問** 老朽化による閉鎖予定や、代替措置の検討はされているのか。

**答** 大規模修繕等が必要となるまでは運営を続けるが、運営が難しい状態となった場合には事業の継続や代替措置等も含めて検討する。

**問** 学校給食について

**問** 給食費の未納者への対応について聞か。

**答** それぞれの家庭に訪問し、面談を通じて未納の解消に向けた取り組みを進めている。



くすき ひろひこ  
楠木 宏彦

(日本共産党)

## 救急搬送のとき、選定療養費が7700円徴収されるといわれているが

動画はこちら



**答** 救急の患者は徴収しない。市立伊勢総合病院の場合、全体の1%程が対象

**問** 伊勢市休日・夜間応急診療所は22時までであるが、夜間の緊急医療受け入れ体制はどうなっているか。

**答** 伊勢市健康医療ダイヤル24では医師等が24時間体制で電話相談等に応じている。また、伊勢赤十字病院と市立伊勢総合病院が輪番制で24時間診療に対応している。

**問** 市の小児医療体制はどうなっているか。

**答** 市内10力所の小児科、休日・夜間応急診療所、伊勢赤十字病院が連携して対応している。

**防災施策について**

**問** 避難所における飲料水や食料の備蓄の現状は。

**答** 市の備蓄は、自助、互助を補完するもので、伊勢市備蓄計画の目標数量を令和9年度までに充足するよう進める。

**問** 地域の避難所の備蓄量が少ないと感じるが。

**答** 地域で不足する分は、防災拠点倉庫から配送する。地域で自主的に備蓄する場合、市から3分の2を補助している。



伊勢市休日・夜間応急診療所

**問** 市民が準備する非常用の持ち出し袋に入れておくべきものは。

**答** 飲料水や食料も必要であるが、最低限、眼鏡や薬等、その人にとっての必需品を入れていただきたい。

**問** 木造住宅耐震化の取り組みの進捗状況は。

**答** 旧耐震基準の木造住宅が約1万2千5百棟ある。令和6年度から戸別訪問を本格的に開始した。現在、約6千棟を訪問し、耐震化を進めている。

**問** 耐震補強工事について、訪問して感じることは。

**答** 多額の出費に躊躇される方が多い。耐震シエルトは補助率100%で、上限額100万円。耐震診断も不要で、より利用しやすくなっている。



かみ や あき こ  
神谷 明子

(参政党)

## 伝統文化を守り継承していくための取り組みについて知りたい

動画はこちら



**答** 初穂曳を体験できる機会を設けている

**問** 公教育において、伊勢の伝統文化についての学習はどのように行われているか。

**答** 学習指導要領に則り、伊勢独自の副読本や歴史教材を活用し、学習を行っている。

**問** 代表的な伝統文化であるお木曳をより深く知るための取り組みについて知りたい。

**答** ふるさと学習の出前講座のほか、伊勢御遷宮委員会からの呼び掛けで市内の4小学校の子どもたちが初穂曳に参加している。その他、各奉曳団やガールスカウトからも参加があり、約80名の子どもたちが実際に初穂曳を体験した。なお、参加にあたっては出席扱いになるよう教育委員会と調整している。

**問** 伊勢御遷宮委員会の取り組みについて詳しく知りたい。

**答** 子ども向けのお木曳行事のロゴマークや、それを用いたポスター・ステッカー等を市内関連施設・小



奉曳車（お木曳車）

学校に配布し、子どもたちがお木曳について知り、参加してくれるよう働きかけている。ホームページにはお木曳の熱気や楽しさが伝わるよう動画を掲載する等、子ども向けのページを作成している。

**問** 小中学校における体育館の空調設備について

**答** 令和7年度には小学校15校のプールの授業が外部委託となり、その中には水泳の授業が10月に実施される学校もある。夏場の子どもの運動量の確保という観点からも、現時点での空調設備の設置状況を知りたい。

**答** 現在どの学校にも設置されていないが、令和8年度中に全校に設置したいと考えている。

一般質問



つじ だき  
辻 孝記

(公明党)

带状疱疹ワクチンの任意接種費用の助成制度をなぜ終了するのか

答 国が65歳を定期接種（5年間の経過措置で5歳間隔で適用）の対象としたためである

動画はこちらから



- 問 これまでの50歳から打てる任意接種の費用助成制度を残すべきではないか。
- 答 接種年齢の境目については、様々な声があることを市長会の議論の中でも伝えていきたい。
- 問 HPVワクチン接種の推進について
- 答 定期接種対象者への周知が中学1年生だけが、最後になる高校1年生相当にもすべきでは。
- 問 接種の状況や他市の状況を見て検討したい。
- 答 20歳を迎えた方に子宮頸がん検診無料クーポンを配布しているが、30歳ぐらいで再度配布する考えはないか。
- 問 検診の時期については状況を見て考えたい。
- 問 HPVワクチンは男性も任意接種ができるが、接種費用を助成する考えはないか。



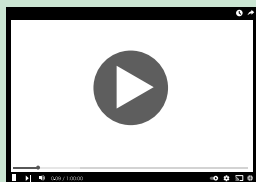
- 問 国において定期接種化に向けた議論がされている。国の動向を注視していきたい。
- 答 国において定期接種化に向けた議論がされている。国の動向を注視していきたい。
- 問 高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の推進について
- 答 定期接種化後（5年間の経過措置2回を含む）の接種率の変化はどうか。
- 問 10年間の接種率は対象者の約50%、65歳の方だけになった令和6年度は約30%である。
- 問 定期接種の機会を逃した方への支援が必要と考えるがどうか。
- 答 希望する方が接種できるように、積極的な周知に努めたい。

各種ご案内

議会放映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の模様を会議のあった日の翌日午後2時と7時からの2回、また定例会終了後の翌々日午後8時から再放送をケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。

なお、伊勢市議会のホームページでYouTubeを利用した動画配信も行っています。インターネット環境があれば、時間を気にせず視聴していただくことができますのでご利用ください。



伊勢市議会動画配信 検索

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

12月定例会会議録

12月定例会の詳細は、「12月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ2月下旬に設置の予定です。

また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

3月定例会は、

2月24日～3月23日の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

## 表紙の題字は

市内小学校5年生の方々に応募いただいた作品の中から、今回は柳瀬さんの「いせ」を採用しました。



### 題字を書いた時の感想

ぼくの大切な人たちが住む「いせ」  
ぼくの大好きなスポットがある「いせ」  
心を込めて書きました。

豊浜西小学校5年 やなせ だん  
柳瀬 暖

## 伊勢市議会議員を紹介します

(議席番号 氏名)

(任期：令和7年11月27日～令和11年11月26日)



①大野 寛文



②小阪 史章



③神谷 明子



④森下 知世



⑤中村 栄治



⑥山木 英樹



⑦青沼 陽一郎



⑧杉村 剛



⑨宮本 晃



⑩谷口 久美



⑪池田 覚



⑫大西 要一



⑬宮崎 誠



⑭久保 真



⑮中村 功



⑯上村 和生



⑰北村 勝



⑱楠木 宏彦



⑲吉井 詩子



⑳岡田 善行



㉑辻 孝記



㉒吉岡 勝裕



㉓品川 幸久



㉔宿 典泰

### 問い合わせ先

伊勢市議会事務局（本館3階）  
〒516-8601  
伊勢市岩渕1丁目7番29号  
☎ 0596-21-5630  
FAX 0596-21-5631  
✉ gikai@city.ise.mie.jp

### 編集

議会のあり方調査特別委員会 広報広聴検討分科会  
会長 久保 真 副会長 谷口 久美  
委員 大野 寛文 小阪 史章  
森下 知世 宮本 晃  
池田 覚 品川 幸久